



嶺北地域アクションプランの進捗状況等について
(第3四半期)

嶺 北 地 域 本 部

平成30年2月5日(月)

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H 3 0 . 2 . 5
嶺北地域本部

1 地域アクションプランの平成 29 年度（第 3 四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域アクションプラン（23 項目）については、嶺北 4 町村において相互に関連する取り組みや、4 町村全てに関わる取り組みが多いことから、常に連携を図りつつ、各町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取り組みとベクトルを合わせながら推進している。

また、地域アクションプランの取り組みと連携させた畜産と林業の 2 つの地域産業クラスターの形成を、地域への波及効果を生み出すべく進めている。

農業分野では、3 町が中山間農業複合経営拠点の整備に取り組むなか、JA 出資型法人（(株)れいほく未来）においては、研修生の受け入れが新規就農につながってきている。

畜産分野では、土佐あかうしの増頭が順調に進んでいるほか、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の生産拡大に向けた体制強化を図っている。また、土佐はちきん地鶏の付加価値を向上させるため、HACCP 対応の食鳥処理・加工施設を整備し、試験運転を始めた。1 月からは全面稼働する予定であり、これを生かした首都圏等での営業活動に取り組んでいる。

林業分野では、素材生産量が増加しており、さらなる原木増産に向けて重点森林組合への支援に取り組んでいる。また、集落活動センターにおける担い手の育成や 3 年目となるスギのコンテナ苗の栽培及び販売の取り組みなどを進めている。

観光分野では、県外企業の監修によるアウトドア拠点施設の整備に向けた取組や、さめうら荘の建設のほか、山岳観光プログラムの磨き上げなどを進めている。あわせて、これらの取り組みを広域で展開していくため、広域での民泊受入及び観光周遊ルートづくりをはじめ、広域観光組織の機能強化等に向けた検討が行われている。また、平成 31 年度には、アウトドア拠点施設をメイン会場として「アウトドア」「生活文化」「食」をテーマとした地域博覧会「土佐れいほく博」（仮称）を開催することが決定した。さらに、さめうら湖を活用したカヌーのまちづくりを進め、嶺北高校の魅力向上も含めた地域の活性化や合宿誘致など交流人口の拡大につながる環境整備に着手している。

そのほか、地域の自主的な取り組みを後押しするためのクラウドファンディングの活用や、移住対策における情報発信やネットワーク化、「ONE れいほく」による学生・若者と地域を結ぶ仕組みづくりなどを、さらなる移住者の増加や地域の若者定着につなげるべく取り組みを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA 出資型法人（(株)れいほく未来）を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)れいほく未来</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）</p> <p style="text-align: center;">： 12 人 (H28～31 累計) <H24～27 累計： 8 人></p> <p>農業経営事業（園芸）売上高</p> <p style="text-align: center;">： 50,000 千円<H26： 23,670 千円></p> <p>米粉等の販売額： 1.1 億円<H26： 1.04 億円></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・JA 土佐れいほく</p> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[H29 到達目標]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）：3人 農業経営事業（園芸）売上高：37,300千円 米粉等の販売額：1.1億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：3人 → 実績2人 農業経営事業（園芸）売上高（1～12月） ：38,500千円 → 実績35,409千円 米粉等の販売額：1.1億円 → 実績1.1億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修による新規就農者数（雇用者数含む）：2人 ・農業経営事業（園芸）売上高（1～9月）：18,945千円 （前年同期比88.2%） ・米粉等の販売額（10月末）：53,907千円 ・農業経営事業（園芸）の打合せ：5回 ・インターンシップ事業実施：3回・8人参加 ・栽培講習会への参加：8回 ・大阪における米粉製品の試食会開催：1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ生及び研修生の募集、受入 ⇒嶺北高校との連携等による農業に意欲のある研修生の確保及び独立就農や雇用就農につなげるための支援 ・栽培技術の習得 ⇒育苗及び野菜栽培管理技術の向上による生産性の向上（彩どりピーマン、米ナス等）及び冬作（スナップエンドウ）の定着に向けた検討 ・経営の安定・強化 ⇒経営計画に沿った生産販売活動、新規有望品目の選定、次期生産計画の策定 ・米粉の新商品生産のための原料米の確保 ⇒原料米の確保に向けた検討
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興（本山町、土佐町、大豊町）</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA 土佐れいほく</p>	<p>[目標（H31）]</p> <p>土佐あかうしの販売額：3.0億円<H26：1.5億円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2.8億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>土佐あかうしの販売額：2.8億円 → 実績2.5億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・肉用牛生産組合 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐あかうしの販売額(12月末) : 2.06億円(前年同期比117%) ・れいほく未来飼養頭数: 228頭(前年同期比134%) (繁殖雌牛119頭、肥育60頭、子牛49頭) ・産振総合補助金活用による堆肥舎の完成(7月) ・レンタル畜舎整備事業: 本山町1戸 ・第1回れいほく未来畜産に関する連絡会(5月) ・飼料用とうもろこしの播種(5月): 1.3町 ・受精卵移植で生まれた子牛の取引開始(11月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭 ⇒繁殖雌牛導入事業及び土佐あかうし増頭対策事業 (受精卵移植、キャトルステーション飼育)の継続実施 ・飼育担当者及び飼養管理技術の向上 ⇒OJTの徹底(定期的な勉強会の開催) ・れいほく未来の水不足 ⇒汲み上げポンプ整備(高知県複合経営拠点支援事業) ・堆肥の活用 ⇒堆肥舎の早期稼働 ⇒堆肥の活用に向けた企業との連携(農商工連携事業)
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>黒牛の販売額: 54,900千円<H26: 34,000千円> 出荷羽数: 12.5万羽<H26: 5.2万羽></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>黒牛の販売額: 50,000千円 出荷羽数: 8.0万羽</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>黒牛の販売額: 40,000千円 → 実績 58,998千円 出荷羽数: 8.0万羽 → 実績 6.0万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒牛の販売額(11月末): 32,340千円(前年同期比75%) ・出荷羽数(11月末): 5.2万羽(前年同期比131%) ・大川村PT全体会の開催: 1回(6月) 大川村PT産業振興部会の開催: 2回(7月、11月) 大川村PT販売に関する協議: 1回(5月) ・第2回大川村議会維持対策検討会議での協議(7月) ・高知県産品商談会への参加: 5件商談(うち2件成約) ・産振総合補助金活用による食鳥処理・加工施設の完成 (8/9落成、1月～全面稼働予定)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県版 HACCP(第3ステージ)認証の取得(12月) ・新規取引先:30件(取引先数(累計):148件) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛の増頭 <ul style="list-style-type: none"> ⇒一貫生産体制における繁殖成績のさらなる向上 ・はちきん地鶏のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒完成した施設での確実な食鳥処理及び加工品の生産 ⇒首都圏等における営業活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> (営業担当人材の増強と外商公社との連携) ⇒アドバイザーの確保 ・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒床暖房の利用による冬場の育成率、出荷平均体重の改善 ・堆肥の活用 <ul style="list-style-type: none"> ⇒新たな堆肥舎建設と活用方法の検討
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・高知おおとよ製材(株) ・嶺北広域原木安定供給協議会 ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>素材生産量:130,000 m³<H26:98,515 m³></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>素材生産量:120,000 m³</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>素材生産量:110,000 m³ → 実績 107,604 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材生産量(11月末):60,874 m³ ・木材増産推進プロジェクトチーム会:2回 ・森林組合支援ワーキング:3回 ・森林組合支援チーム会 <ul style="list-style-type: none"> :大川村7回、大豊町4回 計11回 ・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議(森林組合、事業体計12事業体) ・間伐関係補助事業の周知 ・ストックヤード造成工事 <p>(H28.4月着手、進入道完成、造成作業/進捗率は11月末現在で全体の41.0%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木(C材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発 ・嶺北広域原木安定供給協議会:1回(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴う再造林の推進 ・林業事業体の体質強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒「森の工場」新規計画策定の検討 木材増産に向けた計画的な生産（皆伐・搬出間伐）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業従事者及び担い手の育成確保 ・原木の安定供給 <p>⇒嶺北広域原木安定供給協議会の取り組み 必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整に向けた ICT化の推進等</p>
<p>■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)SUN SHOW ・レイホク木材工業(協) ・吉野川リビング(協) ・木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン) ・本山町 ・土佐町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)] 木材の出荷量: 2,000 m³<H28: 744 m³></p> <p>[H29 到達目標] 木材の出荷量: 1,200 m³</p> <p>[H28 到達状況] 木材の出荷量: 1,200 m³ → 実績 585 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築棟数(11月末): 36棟(879 m³)(前年同期比246%)(前年同期: 15棟(358 m³)) ・かがわ家博出展(8/19~8/20) ・ウッドフェスティバル出展(10/7~10/8) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北材の販路拡大 ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを強化
<p>■No.10 特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者 ・(一財)本山町農業公社 ・土佐町森林組合 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)] 販売数量: 2,500kg<H26: 2,350kg></p> <p>[H29 到達目標] 販売数量: 2,500kg</p> <p>[H28 到達状況] 販売数量: 2,500 kg → 実績 1,054 kg</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売数量(12月末): 336.5kg(前年同期比55%) ・生産者の実態把握、生産増加のための訪問: 8回 ・本山町農業公社との打合せ: 3回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業公社の人員体制の整備 ⇒人材の確保に向けた検討 ・生産量の増加 ⇒栽培放棄地の生産委託の拡充 農業公社等による集出荷の検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催
<p>■No. 11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> いしはらの里協議会 土佐町 民間事業者((株)FPI)等 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業研修者:60人(H28~31累計)<H27:0人> 研修者の宿泊日数:360泊(H28~31累計)<H27:0泊></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>林業研修者:33人 研修者の宿泊日数:79泊</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>林業研修者:5人 → 実績9人 研修者の宿泊日数:30泊 → 実績31泊</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修の実施(10月) 林業研修者:3人 H29年度研修プログラムの検討:2回 研修日程及び内容の決定(5月) 研修者募集開始(6月) 参加者募集のチラシ作成、広報(6月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修者の確保 ⇒民間事業者(FPI)、移住支援団体等との連携による 広報の強化 ⇒Facebook等による情報発信
<p>■No. 12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)れいほく未来 NPO法人土佐さめうら観光協会 ポータルサイト利用事業者 土佐町 本山町 大豊町 大川村 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額 :85,200千円<H27:0円> ポータルサイト年間売上高:1,200千円<H26:564千円></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額:16,000千円 ポータルサイト年間売上高:700千円</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額 :16,000千円 → 実績6,402千円 ポータルサイト年間売上高:700千円 → 実績361千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 県外飲食店等との直接取引による販売額(12月末見込) :7,985千円(前年同期比128%) ポータルサイト売上高(11月末):172千円 受発注管理システムを活用した地産外商の実施 商談会(関西居酒屋産業展)への参加(5月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・直接取引飲食店等(11月末):25件 ・直接取引関係生産者等(11月末):25件 ・新たな農産物(イタドリ)導入に向けた現地視察 (6月、9月) ・ホームページへのアクセス数(11月末):3,159件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ⇒道の駅を拠点とした集荷の検討 ・計画的な農畜産物の生産体制構築 ⇒嶺北全体における集荷の仕組みづくりのため、生産事業者等への呼びかけ、新たな農産物の導入 ・ポータルサイト年間売上高の増加 ⇒ポータルサイトのリニューアルの検討
<p>■No.13 クラウドファンディングを活用した地域活性化(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会 ・商工会 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>調達額:15,000千円(H28~31累計)<H27:0円> 嶺北地域のプロジェクト数:5件<H27:0件></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>調達額:2,100千円 嶺北地域のプロジェクト数:3件</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>調達額:5,000千円 → 実績1,499千円 嶺北地域のプロジェクト数:2件 → 実績2件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブオーナー(嶺北地域)連携会議:2回 新規プロジェクト案とサポート体制の共有 FAAVO高知運営体制の見直し ・嶺北地域のプロジェクト数:1件 PT①達成 大豊町怒田集落の集会所(7/6~9/3) 調達額:1,077千円、支持者:71人 ※その他 嶺北地域外のPT:2件 ・FAAVO高知の説明会&ブラッシュアップ会(8/13) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の掘り起こし及び地域住民の参加促進・啓発 ⇒嶺北地域における勉強会等の開催

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 ぼうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組(本山町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼうむ合同会社 ・ 本山町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>木工製品全般の売上高: 89,000千円<H26: 33,000千円> 焼酎の販売額: 19,590千円<H26: 4,655千円></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>木工製品全般の売上高: 79,000千円 焼酎の販売額: 11,700千円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>木工製品全般の売上高: 74,000千円 → 実績 27,972千円 焼酎の販売額: 7,750千円 → 実績 8,067千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木工製品全般の売上高(11月末): 19,229千円 ・ 焼酎の販売額(11月末): 4,753千円 <p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販路拡大・販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> 取引先累計(10月末): 171件 ・ 販促E X P O(東京)への出展(7月) ・ 派遣職員の新規受入(10月末): 1名 ・ インターンの受入(10月末): 3名 ・ 新商品・新ブランドの企画・検討 ・ 親子学習机づくりワークショップの開催: 2回・計 22組 ・ 丸太切り&本棚づくりワークショップの開催: 1回・4組 8名 <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント出展(10月末): 22回 ・ 商談会、フェアへの出展(10月末): 4回 ・ 販路拡大・販売促進活動 <ul style="list-style-type: none"> 新規取引先(10月末): 9店舗 取引先累計(10月末): 227店舗 販売本数(10月末): 3,131本(前年同期比92%) ・ 泡盛の新商品開発に着手(4月) ・ 城西館ツアーとの連携による出展等の開始(6月) ・ ドイツ百貨店での高知フェアへの出品(7月) ・ 台湾高級スーパーへの出品(9月) ・ 明治屋シンガポール「高知県フェア2018」の出展に向けた商談会への参加(10月) ・ マスメディアでの紹介: 2回(4月、7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上の増加 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商談会やイベント出展への参加増加 海外へのアプローチ、商品開発

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 基石茶を中心とした加工品ビジネスの展開 (大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豊町基石茶協同組合 ・(株) 大豊ゆとりファーム ・大豊町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>基石茶関連商品の総販売額 : 0.6 億円 < H26 : 0.1 億円 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>基石茶関連商品の総販売額 : 0.18 億円</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>基石茶関連商品の総販売額 (1~12 月) : 0.2 億円 → 実績 0.5 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基石茶関連商品の総販売額 (1~9 月) : 0.2 億円 (前年同期比 54%) ・販促活動 (12 月末見込み) : 14 回 (延べ 41 日) ・基石茶親衛隊の募集と生産活動実施 (5 名) (募集 : 5/24~、実施 : 6/13~8/20) ・地域おこし協力隊の導入 (4 月~ 1 名) ・新たに整備した基石茶製造施設での生産活動を実施 ・新たな営業職員を雇用 (1 名) ・基石茶製造量 : 約 1.6 t (H28 : 1.2 t) ・基石茶目ならし会の開催 (10 月) ・H29 年度生産分の出荷開始 (10 月~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規生産者の育成・確保 ⇒担い手確保や支援体制の構築に向けた検討 ⇒基石茶生産と他の仕事を組み合わせた兼業農家 (半農半 X) での就農の提案 ・販路の維持・拡大 ⇒H30 年度の機能性表示申請に向けた高知大学等専門機関との協議
<p>■No. 16 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化 (土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうらこむ ・犬小屋製作工房 K ・土佐地区商工会 <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>注文数 : 750 件 < H27 : 500 件 > [犬小屋製作工房 K] 従業者数 : 6 人 < H27 : 4 人 > [さめうらこむ]</p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>注文数 : 600 件 [犬小屋製作工房 K] 従業者数 : 5 人 [さめうらこむ]</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>注文数 : 500 件 → 実績 553 件 [犬小屋製作工房 K] 従業者数 : 4 人 → 実績 5 人 [さめうらこむ]</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文数 (11 月末) : 341 件 (前年同期比 89%) [犬小屋製作工房 K] ・従業者数 (11 月末) : 5 人 [さめうらこむ]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[犬小屋製作工房 K]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場予定地の農地転用等の手続き完了 (10月) ・オンライン及び紙面での商品 PR・販売 <p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの商品 PR・販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[犬小屋製作工房 K]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な製造ライン確保のための新工場整備 ⇒建設規模等の検討 <p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大に必要な人材育成 ⇒製品のクオリティを維持・向上できる職人の確保
<p>■No. 17 嶺北地域の連携による交流人口の拡大 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嶺北地域観光・交流推進協議会 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 <p>※地域産業クラスター関連 (嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数 : 12,400 人 <H26 : 11,461 人></p> <p>民泊受入世帯数 : 120 世帯 <H26 : 49 世帯></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数 : 16,000 人 民泊受入世帯数 : 90 世帯</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>公共関連宿泊施設での宿泊者数 : 11,800 人 → 実績 15,947 人</p> <p>民泊受入世帯数 : 75 世帯 → 実績 82 世帯</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共関連宿泊施設での宿泊者数 (11月末) : 14,605 人 ・民泊受入世帯数 (11月末) : 84 世帯 ・教育旅行の受入 (11月末) : 5 件、158 人 ・嶺北地域民泊推進協議会連合会の設立 (4月) ・広域観光の専門アドバイザーとの協議 (4月) 産業振興アドバイザー (6月) 早明浦湖水祭シンポジウムでの講演、パネルディスカッションを通じた課題提起 (8月) ・嶺北地域・観光交流推進協議会担当者会の開催 : 2 回 ・嶺北地域・観光交流推進協議会総会の開催 (6月) ・城西館との連携による大手旅行会社ツアー受入れ : 4 回 ・土佐れいほく博 (仮称) に係る協議 嶺北地域 4 町村観光担当課長会 : 5 回 (4~11月) 嶺北地域 4 町村首長会 : 1 回 (11月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域観光を担うコーディネート組織の機能強化 ⇒観光・交流ビジョンの策定 ・ 嶺北地域らしい旅行商品の造成 ⇒高知市の旅行業者が実施するツアーの活用 ⇒簡易マーケティングの実施 ・ 情報発信の一元化 ⇒嶺北広域観光パンフレットの改訂 ⇒ホームページ作成に向けた検討 ・ 4町村が一体となった広域観光の推進 ⇒土佐れいほく博(仮称)の開催に向けた検討
<p>■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 ・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：50,000人<H27：0人> 白髪山・工石山への観光客数 ：200人(H28～31累計)<H24～26累計：58人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：－ 白髪山・工石山への観光客数：10人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：－ 白髪山・工石山への観光客数 ：10人 → 実績13人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白髪山・工石山への観光客数(11月末)：41人 (前年同期比373%) ・ 高知・本山アウトドアの里づくり推進協議会：2回 ・ 嶺北地域4町村観光担当課長会：5回 ・ 県の観光拠点等整備事業費補助金(H28からの繰越) 本山町アウトドアの里拠点施設整備事業の実施設計委託(2～11月) ・ 地域事業者の育成及び受入体制の充実のためのインストラクターやガイド研修：20回 ・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 総会(5月) ・ 「さんしんGO」での白髪山登山の広報(5月) ・ 白髪山の林業遺産認定(5月)→高知新聞掲載(5月) ・ 奥工石山「紅簾石」の県天然記念物指定(6月) ・ 高知城歴史博物館、木材普及推進協会との「散策会～白髪山を歩く～」の共催(7月) ・ 本山・嶺北地域のスポーツツーリズム・アウトドアによる地域振興シンポジウムの開催(7月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ KUTV 「とさんぽ」 白髪山登山の放映 (8 月) ・ 「ほっとこうち」 白髪山八反奈呂の取材 (9 月号掲載) ・ 奥工石山モニターツアーの開催 (11 月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アウトドアの里拠点施設建設の早期着手 ⇒施設運営に関する計画の磨き上げや関係者間の連絡調整・ 情報共有 ・ 嶺北広域での事業展開 ⇒交付金を活用した広域連携事業の実施 ⇒広域観光組織の機能強化 ・ 天然記念物を中心にした散策ルートの設置及びガイド育成 ⇒アウトドア拠点施設整備の取り組みと連動して実施
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備 (嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大川村 ・ (一社) 大川村ふるさとむら公社 ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>白滝の里施設利用者数 : 15,000 人 < H26 : 6,175 人 ></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>白滝の里施設利用者数 : 11,470 人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>白滝の里施設利用者数 : 10,000 人 → 実績 10,790 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白滝の里施設利用者数 (11 月末) : 8,520 人 ・ 登山ツアーの実施 : 3 回 ・ 石鎚山系連携事業協議会設立総会 : 1 回 ・ 石鎚山系連携事業協議会 : 2 回 ・ 石鎚山系連携事業協議会分科会 (登山) : 2 回 ・ 大川村 P T 全体会の開催 : 1 回 ・ 大川村観光・ 交流部会の開催 : 3 回 ・ 白滝の里観光交流アクションプランについての協議 : 2 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規プログラムの開発及び既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 ⇒新規プログラムの開発及び実施 ⇒石鎚山系連携事業協議会との連携、情報収集 ・ 人材の育成・ 確保 (プロジェクトリーダー等) ⇒専門研修や OJT 研修の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者(NPO 法人さめうらプロジェクト)等 ・土佐町 ・大川村 ・本山町 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数:2.5万人 <H26:2万人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数:2.3万人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数 :2.1万人 → 実績2.3万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうら荘利用者数(11月末):1.6万人(前年同期比98%) ・イベント参加者数:延べ約640名 スポーツフィッシング大会等:7回 ウォータースポーツ体験等:11回 ・さめうら荘建設に係るワーキンググループ:1回 ・さめうら荘建設(H30.12月竣工予定) 実施設計完了(10月) 工事着工(11月) ・さめうら湖利用計画及び早明浦ダム湖面利用規則の改正 (5月) ・カヌーのまち嶺北推進協議会 設立総会(5月) 協議会の開催:2回 さんしんGOでのカヌーの取組の広報(11月) ・観光コーディネーターの採用(11月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して利用者が訪れる取り組みの構築 ⇒カヌー練習環境の整備に係る財源の確保 ⇒湖面・湖畔アクティビティの観光商品化の検討 ⇒土佐れいほく博(仮称)の開催に向けた検討
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人れいほく田舎暮らしネットワーク ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>移住者数:280人(H28~31累計)<H24~26累計:214人></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>移住者数:80人</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>移住者数:100人 → 実績101人(66件)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者数(11月末):57人(46件)(前年同期比110%) ・移住促進連絡会の開催:9回 ・移住相談受付件数(11月末):284件 ・空き家調査件数(11月末):42件

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・お山のでづくり市の開催：3回 ・県外の移住相談会への参加：11回 ・移住者交流会の開催：2回 ・須崎市×本山町 移住交流相談会（大阪）：1回 ・チャレンジショップ事業の開始（11月） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR、情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒プロブロガーやNPO法人 ONE れいほくとの連携 ⇒土佐町 Web サイト「とさちょうものがたり」における地域情報の発信（RIN が運営を受託） ・空き家の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒町村営住宅等の整備及び空き家改修補助金の活用促進 ・移住相談等増加への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ⇒勉強会の開催や、CCRC、教育魅力化、起業支援（チャレンジショップ等）など、新たな人の流れの構築 ・大川村における移住支援体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ⇒集落活動センター結いの里の機能拡充
<p>■No. 22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONE れいほく」の構築（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人 ONE れいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>プロジェクト数：7件<H27：0件></p> <p>[H29 到達目標]</p> <p>プロジェクト数：5件</p> <p>[H28 到達状況]</p> <p>プロジェクト数：4件 → 実績6件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト数（10月末）：5件 <ul style="list-style-type: none"> 大豊町「農業インターンシップ事業委託」 大豊町「特産品販売促進戦略事業委託」 オーシャンリース(株)「FAVVO 高知運営業務委託」 大豊町「産業振興事業委託」 自主事業「若者のキャリア形成事業（インターンシップ）」 ・地域づくりアドバイザーによるセミナーの開催（8月） ・マスメディア等での活動紹介・視察受入（10月末）：14回 ・3つの拠点への訪問者（10月末）：延べ1,134人 ・ONE れいほくの関与による嶺北への移住（10月末）：9人（9件） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報発信や人材の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ⇒地域活性化に資するオリジナルプロジェクトの企画・実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町 <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産本数:2万本<H27:1,920本></p> <p>[H29到達目標]</p> <p>生産本数:2万本</p> <p>[H28到達状況]</p> <p>生産本数:2万本 → 実績1.7万本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種:800g(4月、6月) ・コンテナへの移植:2.0万本(6月、7月) ・出荷作業及び納品(8月、11月) <p>出荷本数:12,300本 (27年度生産分1,340本、28年度生産分10,960本)</p> <p>納品先:大豊町森林組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培管理に関する勉強会:1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植作業の効率化 ⇒油圧駆動キャビティ培土圧入機の導入検討 (土と肥料の混ぜ合わせ及びコンテナに入った土を圧縮し穴をあける機械) ・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 ⇒勉強会等による栽培管理技術の習得 ・ビニールハウス内の室温管理 ⇒勉強会等による栽培管理技術の習得や高温を検知しメールで通知するシステムの導入検討 ・継続的な販売先の確保 ⇒森林組合等事業者との協議の継続 (H28年度分はすべて出荷済)

2 平成29年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位:千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 県民参画に向けた取組

- ・土佐町森林組合理事会での第3期計画 ver.2の説明(4/14)
- ・土佐町地区長会での第3期計画 ver.2の説明(4/20)
- ・土佐れいほく農協理事会での第3期計画 ver.2の説明(4/27)
- ・大豊町区長会での第3期計画 ver.2の説明(4/27)
- ・地域版(嶺北地域)商人塾(5/17)の参加案内(地域内事業者、商工会等)
- ・本山町商工会総会での第3期計画 ver.2の説明(5/19)

- ・土佐地区商工会総会での第3期計画 ver.2 の説明 (5/23)
- ・大豊町商工会総会での第3期計画 ver.2 の説明 (5/26)
- ・高知銀行との勉強会における地域アクションプラン進捗状況等の説明 (6/28)
- ・本山町政経懇話会における第3期計画 ver.2及び地域アクションプラン進捗状況等の説明 (7/18)
- ・四国銀行との勉強会における地域アクションプラン進捗状況等の説明 (9/20)

4 相談案件： 2件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	11/27	農業	6次産業化による加工品の開発
2	12/15	農商工	特産品の生産及び販売拡大に向けた連携